

NO32 文治政治

幕府政治は、国内では、17世紀半ば以降、これまでの強圧的な武断政治から、儒教的徳治主義にもとづく文治政治へ転換していった。この時期諸藩では、いわゆる名君が儒学者を顧問にして藩政の改革を進めた。一方で、幕府は（ア）を緩和して大名の断絶を減らし、牢人（浪人）の増加を防いだ。また、主君の死に際して、（イ）を禁じた。これは家臣が、主君個人よりも、主君の家に奉公するように改めたものである。

NO258 文治政治 2005 追試

問1 空欄(ア) (イ)に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 上げ米 イ 家臣の殉死
- ② ア 上げ米 イ 家臣からの人質（証人）
- ③ ア 末期養子の禁 イ 家臣の殉死
- ④ ア 末期養子の禁 イ 家臣からの人質（証人）

正解→③猫問

NO259 藩政改革 2005 追試

下線部に関して、藩主とその顧問儒学者の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 藩主：池田光政、儒学者：熊沢蕃山
- ② 藩主：池田光政、儒学者：藤田東湖
- ③ 藩主：徳川光圀、儒学者：熊沢蕃山
- ④ 藩主：徳川光圀、儒学者：藤田東湖

正解→①

NO260 名君と儒者 2007 追試

前田綱紀について述べた文で正しいのは。

- ① 徳川家宣の侍講となり、幕政にも参画した。
- ② 会津藩主で、将軍家綱を補佐した。
- ③ 木下順庵を招き、学問の振興をはかった。
- ④ 閑谷学校を設け、教育の振興をはかった。

答→③

NO261 対外関係の枠組み 2007 追試

下線部(a)について述べた文として謝っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① キリスト教禁圧の徹底をはかり、ポルトガル人を追放した。
- ② 日本人の海外渡航を禁止し、すでに海外にいる者の帰国も禁じた。
- ③ 海舶互市新例を出して、長崎の貿易額を制限した。
- ④ オランダ商館を長崎に移した。

正解→①1639年家光のとき。②1635年家光のとき。③が新井白石だとわかれば、家綱のときで✖となる。④は1641年家光のとき、正解→③

NO262 将軍の代替わりに起きた事件 2007 追試

下線部(b)の状況下に起こった事件について述べた文として正しいものを、次の①～④のうち

から一つ選べ。

- ① 尊号一件をめぐる、幕府と朝廷の関係が緊張した。
- ② 国学者の生田万が、越後国柏崎の代官所を襲撃した。
- ③ 通商を拒否され、ロシア軍艦が紛争を起こした。
- ④ 兵学者の由井正雪が、幕府転覆を企てた。

正解→家斉11代将軍のとき1789年で①✖、これは大塩平八郎の乱のあと、1837年で✖、1804年長崎に来航したレザノフで✖、4代将軍家綱のときに、由井正雪の乱が起きた○正解→④

NO263 6・7代将軍の幕府の政策 2010 本試

6代将軍・7代将軍の時代の幕府の政策に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 朝鮮から国書に記す将軍の称号を、日本国大君と改めさせた。
Y 新たに閑院宮家を創設し、朝廷との協調をはかった。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

正解→新井白石は、日本国大君でなく日本国王に改めさせたのでYは✖。天皇家の所領である禁裏御料は少なく皇子・皇女が出家などをしていたので、新井白石は閑院宮家を創設して、朝廷との融和を目指したので○、正解→③

NO264 徳川綱吉の政治

徳川綱吉の政治について誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 生類憐みの令を出して、犬をはじめとする鳥獣の保護を命じた。
- ② 貨幣の質を落とした改鋳を行い、物価の騰貴を招いた。
- ③ 湯島に聖堂を建てて、学問所として整備した。
- ④ 側用人として、大岡忠相を重用した。

答→④側用人は柳沢吉保

NO265 前田綱紀 2013 本

江戸時代前期の大名である前田綱紀について述べた文として正しいものを次から一つ選べ。

- ① 徳川家宣の侍講となり、幕政にも参画した。
- ② 会津藩主で、将軍家綱を補佐した。
- ③ 木下順庵を招き、学問の振興をはかった。
- ④ 閑谷学校を設け、教育の振興をはかった。

正解→③

武器としての日本史
暗記シート

Pain is inevitable Suffering is optional

| 将軍 | 補佐役 | 政策と事件 |
|----|--------------------------|---|
| 家綱 | 【保科正之】会津 大老:酒井忠清 | 1651 ※【慶安事件】⇒【由井正雪】らの幕府転覆事件 1651 【末期養子の禁】緩和 1657 【明暦の大火】江戸の大半焼失 1663 殉死の禁止 |
| | | 1684 堀田正俊暗殺される 1685 【P 天和】の武家諸法度…忠孝による秩序の強調 【P 湯島聖堂】建立⇒【P 林信篤】が大学頭へ 歌学方【北村季吟】天文方【渋川春海】=【貞享暦】 ⇒仏教を篤く信仰↓ 【生類憐みの令】生き物の保護を命じる 1695 【元禄金銀】(悪貨鑄造) ⇒勘定吟味役【萩原重秀】の建議 貨幣価値の下落は物価の高騰を引き起こした 1702 ※【赤穂事件】起こる |
| 家宣 | | 1709 生類憐みの令廃止 1710 【閑院官家】の創設⇒朝廷との融和を図る 1711 【朝鮮使節】の待遇簡素化 将軍宛国書を「日本国大君殿下」から「 <u>日本国王</u> 」へ |
| 家継 | 侍講【新井白石】 側用人 ⇒間部詮房 | 1712 勘定奉行:萩原重秀罷免 物価対策として元禄小判を改め、以前の慶長小判と同じ金含有率の【正徳小判】を鑄造⇒かえって経済が混乱 1715 金銀の海外流出を防ぐため【海舶互市新例】を出し、 オランダ・中国(清)との貿易を制限 清船…30 隻・銀高 6000 貫、蘭船…2 隻・3000 貫 |

| 藩 | 藩主 | 招かれた学者 | 内容 |
|-----|------|------------|------------------------|
| 岡山藩 | 池田光政 | 【熊沢蕃山】陽明学者 | 藩学=【花鳥教場】 郷学=【閑谷学校】 |
| 会津藩 | 保科正之 | 【山崎闇斎】朱子学者 | 闇斎⇒【垂加神道】を提唱 |
| 水戸藩 | 徳川光圀 | 朱舜水(明の儒者) | 光圀⇒【大日本史】編纂 |
| 加賀藩 | 前田綱紀 | 【木下順庵】朱子学者 | 順庵の弟子が【新井白石】 |

新井白石の著作

| | | |
|-----|---------|-------------------------------------|
| 史書 | 読史世論 | 独自の時代区分で朝廷や武家政権の推移を述べる |
| | 古史通 | 古代日本史を合理的に解釈した研究所 |
| 自叙伝 | 折りたく柴の記 | 生い立ちや政治的体験談を記した随筆 |
| 地理学 | 西洋紀聞 | 西洋研究書、イタリア人宣教師【シドッチ】への尋問で得た知識をもとに執筆 |
| | 采覧異言 | 世界地理書、同じく尋問で得た知識 |

STEP2 私大対策

入試の POINT 頻出事項

文治政治への転換につながった由井正雪の乱、末期養子の禁緩和、殉死の禁止が頻出事項。諸藩の文治政治についてもチェックしておく。5代将軍綱吉では頻出事項が目白押し。儒教重視では湯島聖堂に関するものが頻出される。

幕藩体制の安定と産業の発達

文治政治への転換

江戸幕府は武断政治で大名を統制したが、改易によって大量の牢人が出現し、1651年に(1)【由井正雪】が乱を企てると、文治政治への転換が図られた。4代将軍の(2)【徳川家綱】は、(3)【末期養子】の禁を緩和して改易を減らし、徳川支配の正当性を強調するため、大義名分論を唱える(4)【儒学】を振興した。5代将軍の(5)【徳川綱吉】は、林羅山の孫(6)【林信篤】を(7)【大学頭】に任じ、孔子を祀る(8)【湯島聖堂】を建立した。a 諸学問も奨励したが、将軍側近の(9)【側用人】として台頭した柳沢吉保のもと、極端な動物愛護令である(10)【生類憐みの令】を出し、社会の混乱を招いた。この時期からb 幕府財政は逼迫するようになり、勘定吟味役となった(11)【萩原重秀】がc 財政再建に乗り出している。

6代・7代将軍に仕えた(12)【新井白石】は、d 朝廷との融和策をとり、朝鮮通信使の待遇を簡素にするなど、名文論に基づく政治をおこなった。経済面ではe 貨幣の質を高め、長崎貿易での金銀流出を防ぐため、(13)【長崎新令(海舶互市新例)】を出している。

<設問>

- このためにどのような役職を設置したか。役に任じられた人物名を合わせて記せ。
- この理由の一つとして、江戸で起きた大火の名称を記せ。明暦の大火
- どのような政策を打ち出したか。低品位の元禄小判の発行
- これによって設立された官家は何か。閑院官家
- 発行された貨幣は何か。正徳小判